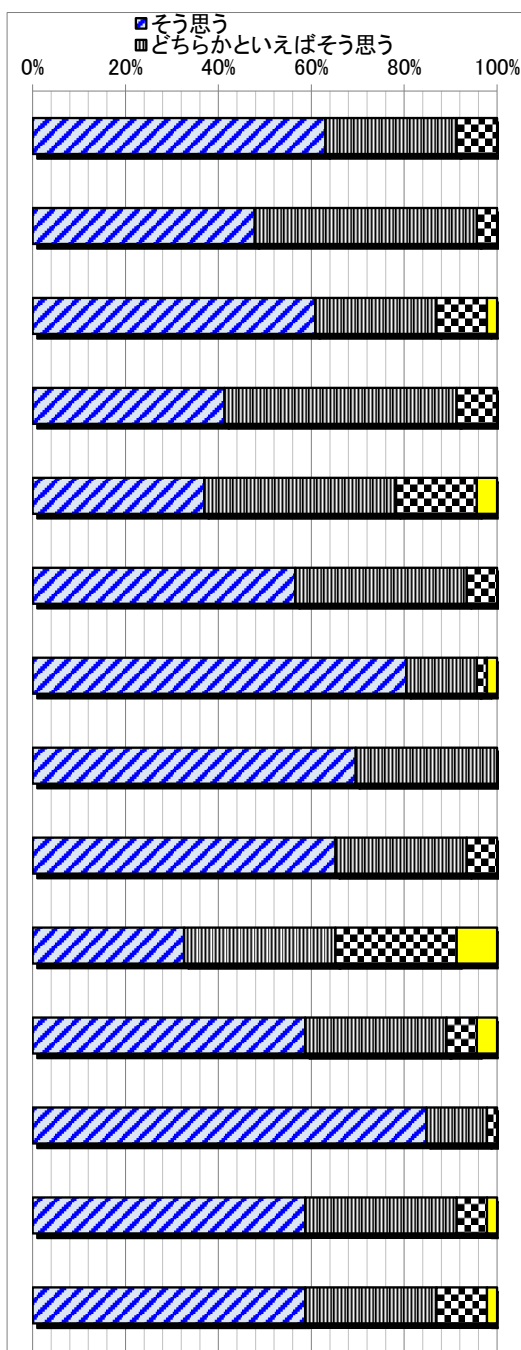


学校評価アンケート集計結果・考察（児童）

令和7年2月18日

		そう 思う	どちら かとい えばそ う思う	どちら かとい えば思 わない	思わ ない	平 均	
①	学校の生活は楽しい。	63%	28%	9%	0%	3.54	○
②	あいさつができています。	48%	48%	4%	0%	3.43	○
③	宿題や家庭学習をきちんと している。	61%	26%	11%	2%	3.46	○
④	勉強したことがよくわかる。	41%	50%	9%	0%	3.33	○
⑤	自分が思ったことや考えたこ とを發表している。	37%	41%	17%	4%	3.11	○
⑥	友達が困っていたら、声をか けたり助けたりしている。	57%	37%	7%	0%	3.50	○
⑦	友達と仲良くしている。	80%	15%	2%	2%	3.74	○
⑧	きまりを守って安全やけがに 気をつけている。	70%	30%	0%	0%	3.70	○
⑨	休み時間など、外遊びをして 運動している。	65%	28%	7%	0%	3.59	○
⑩	本をよく読んでいる。	33%	33%	26%	9%	2.89	▲
⑪	ふるさと海部のよさを知って いる。	59%	30%	7%	4%	3.43	○
⑫	ふるさと海部のことが好きで ある。	85%	13%	2%	0%	3.83	○
⑬	学習や運動は、最後まであき らめないでしている。	59%	33%	7%	2%	3.48	○
⑭	家でゲームやテレビのルール を決め、守っている。	59%	28%	11%	2%	3.43	○



数値は、小数第1位を四捨五入したものであり、合計は100にならないこともある。

【考察と課題】

めざす児童像「かいふっこ」目標達成アンケートを行った。課題として次のことがあげられる。

- ・設問2「あいさつができています。」という問いに対して、「そう思う」「どちらかというそう思う」と答える児童が94%（昨年度91%）であった。今年度もあいさつ運動に取り組んでいるが、自分から進んであいさつができなかったり、場面に応じたあいさつができなかったりすることが見受けられるようである。今後も進んではきはきと、時と場に応じたあいさつができるよう、示範や褒め方の共通理解など続けて取り組んでいく。
- ・設問5「自分が思ったことや考えたことを発表している」という問いに対して、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と答える児童が全体で21%（昨年度16%）であった。伝え合う場面を各教科・特別活動で計画的に実施してきているが、児童にとっては主体的に行っていないと感じていることが考えられる。今後もICTを活用した協働学習を工夫するなど、主体的に伝え合う児童の育成に向けた取り組み続けていく。
- ・設問10「本をよく読んでいる」という問いに対し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と答える児童が全体で35%（昨年度39%）であった。朝の読書活動やまつかぜ号の効果的な利用などに取り組む、本を読む時間を確保している。図書館の整備に努め、利用しやすい運営に取り組んでいる。さらに意欲的に読書活動取り組めるように指導を継続していく。
- ・設問12「ふるさと海部のことが好きである」という問いに対して、「そう思う」「どちらかというそう思う」と答える児童が全体で98%（昨年度100%）であった。ふるさと学習を積極的に進めることにより、ふるさと海部のよさにふれることができているようである。これからも地域との連携をさらに進め、ふるさと学習を継続していきたい。
- ・設問14「家でゲームやテレビのルールを決め、守っている。」という問いに対して、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と答える児童が全体で13%（昨年度9%）であったが、保護者への同じ問いに対して否定的な回答が全体で28%（昨年度27%）だった。家庭との連携のもと、児童の実態を把握し、健康への影響やネットトラブル等についての予防的な支援・指導や情報提供を継続して進める。